

出典：週刊 循環経済新聞 2007年2月12日(月曜日)

日本総合研究所（東京
・千代田、☎ 03・32
888・4700）は、I
Cタグを活用した廃棄物
のトータルマネジメン
ト事業を本格的に開始し
た。従来の追跡管理に加
え、収集したIC情報を
もとに発生傾向や問題点
を分析した廃棄物業務の
コンサルティングまでを
行う。

同事業は、同社主催の「
コンソーシアム「Materi
al Circulation System」（Material Tra
nsfering System）」で
研究が進むべく始めた。
昨年10月、上尾中央総
合病院（埼玉県上尾市、
病院（埼玉県上尾市、

中村康彦院長）で本格稼
働したほか、ハウスメー
ターと共同で新築現場の
ICタグを活用した廃棄物
のトータルマネージメン
ト事業を本格的に開始し
た。従来の追跡管理に加
え、収集したIC情報を
もとに発生傾向や問題点
を分析した廃棄物業務の
コンサルティングまでを
行う。

日本総研

ICタグでデータ分析

廃棄物削減をサポート

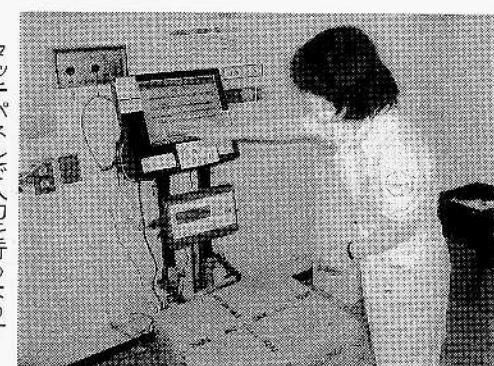
マネジメント事業開始

上尾中央総合病院での
運搬業者は、収集時に備
え付けのICタグ読み取
り機で個数を確認する。
廃棄物ごとに、それれID
番号、部署、種類（ビン
・ガラス、プラスチック、
エッグを行なう。

現在はデータ収集のみ

中村康彦院長）で本格稼
働したほか、ハウスメー
ターと共同で新築現場の
ICタグを貼る。計量時
に画面操作で排出部署、
リサイクル率向上、発生
ゼロエミッション化の実
証研究を行っている。
荷姿を入力して同社サー
バードに情報を送る。収集
導したレポートで病院側
にデータを送る。

針、汚物）が記載された
サーバーに送られた情
報は、業務フロー改善や
顧客とのような形でフ
レームワークを注目され
る。同システムを導入す
ることで廃
棄物のリサイ
クルや発生量
削減が進むだ
けでなく、職
員の意識改革
にもつながる
だつ」と語
り、今後はさ
らに幅広い分
野に展開して
いく意向だ。



タッチパネルで入力を行うようす

同社の武藤主任研究員
は、「廃棄物の選別が業
務の中無理なく行える
ければ発生量削減は望め
ない。同システムを導入